

2017年7月6日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

ランサムウェアに対応するエンドポイントセキュリティを強化

CTC マネージドセキュリティサービス(CTC-MSS)が SentinelOne に対応

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、自社で提供するセキュリティ監視・運用サービス「CTC マネージドセキュリティサービス(CTC-MSS)」と、既知と未知の脅威からエンドポイント(端末)を保護するセキュリティソリューション「SentinelOne Endpoint Protection Platform(以下:SentinelOne EPP)」との連携を7月から開始します。

これにより、多くのサイバー攻撃で狙われやすいエンドポイントでの被害に対して、エンドポイントの隔離や攻撃元の特定など、迅速な対応ができるようになります。

SentinelOne の販売や付随するシステム構築・運用サービスを含めて、3年間で5億円の売上を目指します。

2017年5月に世界中で話題となったランサムウェア「WannaCry」を含むマルウェア対策では、ネットワークの入口での通信の監視に加えて、クライアントPCやサーバなどのエンドポイントを含めた総合的なセキュリティ監視が必要です。

CTC-MSSは、24時間365日、リアルタイムにファイアウォールやIPS(Intrusion Prevention System:不正侵入防止装置)等のセキュリティ機器を監視し、収集した情報をもとに脅威を分析するサービスです。今回、既知と未知の脅威に対する機械学習を活用した検出エンジンを持つ次世代型のエンドポイントセキュリティ製品である SentinelOne EPP を CTC-MSS の監視対象に追加しました。CTC-MSS のセキュリティアナリストが、エンドポイントからのアラートに基づき攻撃元の特定やアクセスの遮断、感染した端末の切り離しなど、被害の拡大を防止するため一元的な対応を行います。

サイバー攻撃の巧妙化やエンドポイントの増加に伴いセキュリティリスクも増大しており、CTC は今後も、最新のソリューションの提供から運用までの統合的なサービスを拡充し、お客様のセキュリティ対策に貢献していきます。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

TEL:03-6203-4100/E-mail:press@ctc-g.co.jp